

葛南教育事務所だより



千葉県教育庁葛南教育事務所

〒273-0012 船橋市浜町2-5-1

Tel 047-433-6017 Fax 047-433-3169



令和5年度 葛南地区中学生・高校生との交流会【指導室】

テーマ①:これからどんな社会になると思うか。そのような社会で活躍できる人は、どのような力を備えているだろうか。
 そのために、今、学校でどんな学びが必要か。
 テーマ②:障がいや国籍などに関係なく、誰もが活躍できる社会を創っていくにはどうしたらよいか。

8月22日(火)に県立浦安高等学校、浦安市立浦安中学校、見明川中学校及び明海中学校の生徒38名と県教育委員会職員17名が参加し、県立浦安高等学校を会場として「令和5年度葛南地区中学生・高校生との交流会」を行いました。

この交流会は、中学生・高校生と県教育委員会の職員が学校生活や日常生活等の中で考えている事柄や問題について意見交換をし、今後の教育施策に生かすことを目的に行われています。開催にあたり、浦安市教育委員会、参加校の校長先生をはじめとする、多くの先生方に御協力をいただきました。



今年度は4年ぶりに対面・参集型で実施することができました。7月19日に県立浦安高等学校を会場として、事前学習会を行いました。中高生がお互いに自己紹介を行い、協議テーマについての理解を深めました(中学生は各学校からオンラインで参加)。自己紹介では、お互いの趣味や特技の話題などで盛り上がっていました。また、事前学習用ワークシートを配布し、各自でテーマについて自分の考えを整理してきてもらうようお願いしました。

当日は、開会行事(全体会)につづいて、中高生が10人で1班の4グループを編成し、交流会のメインとなる分科会を行いました。各グループに県教育委員会職員が加わり、中高生と活発な意見交換を行いました。各生徒は事前学習の内容に加え、他の生徒の意見を聞きながら、適宜質疑応答を行い、議論を深めていました。テーマ①については「自主的に行動でき、新しい技術を吸収し、自分のものにしていく力が必要」、テーマ②では「他の人との違いを気にせず平等に接する。尊重がキーワード」というような意見が出ました。



分科会終了後は、全体会で各班の発表を行いました。各班では分科会の途中からパソコンを用いて発表用スライドを作成しました。事前にリハーサルも行う様子が見られました。そして全体会での発表においては、各班ともスライドを上手に活用しつつ、発表者が分科会の内容を踏まえてよりわかりやすい言葉を用いながら、工夫をして発表を行っている姿が印象的でした。大変すばらしい発表でした。

参加した生徒たちからは、「他校の生徒と交流できてよかった」「自分では想像もつかないようなすばらしい考えが出てきて、新たな知見を得ることができた」「今後は個人として社会に貢献するために何ができるのか考えていきたい」などの感想がありました。半日の行事でしたが、交流会を通じて生徒の皆さんの顔つきが変わり、成長していく姿が見られました。

ユニバーサルデザインの視点を踏まえた「学びやすさ」の構築 行動の背景を考えよう①

【指導室 特別支援教育班】



教室の中には、様々な特性のある多様な子供たちが共に学んでいます。気になる子供の行動には必ず要因があり、それを含めて支援を考えていくことがとても大切です。今回から4回にわたり、「気になる子どもの行動について、その特性や要因を踏まえて支援を講じること」について具体的に例を出して考えていきたいと思います。

例 授業中手いたずらなどをして、指示を聞いていないでぼ~っとしている。



- ？ 集中力が続かないのかもしれない。
- ・他の刺激に注意を取られてしまうのかもしれない。
 - ・手いたずらなどの自己刺激で自分の世界に入りやすいのかもしれない。
 - ・視覚優位や聴覚優位などの知覚認知の偏りがあり、理解することが苦手なのかもしれない。
 - ・分からないことの積み重ねで、学習意欲が低下しているのかもしれない。



手立て

1 教室環境を整理・整備する。

- ・黒板周りを整理したり、教師用机の上を片付けたりするなど、周囲の刺激に影響されないようにする。
- ・モデルとなる友だちを前にしたり、他の友達が気にならない中央前方にしたりするなど、座席の位置を配慮する。



前だと集中しやすいな

2 指示を分かりやすく簡潔に伝える。

- ・大切な内容は板書したりジェスチャーを併用したりするなど、視覚的にも伝える。
- ・注目しているか、全体の様子を見渡してから話をする。
- ・一つの指示で一つだけの行動を促す。具体的で短い言葉で伝える。



みんな顔を上げていますぞ

1つ目は~をします。
2つ目は~をします。

3 できることや答えられることから取り組み、自信とやる気につなげる。

- ・全員が「分かる!」「できる!」ような簡単な発問から始めるようにする。
- ・「yes/no」で答えられるような発問や、簡単に挙手できる状況を作り、授業の開始に主体的に参加できるようにする。



今は~をします。
ポイントは~です。

4 全体に指示をしたら、机間巡視をして、気になる子供へ声をかけたりヒントを出したりする。

5 終わりが分かり、見通しをもって取り組めるようにする。

- ・活動内容を提示する。
- ・終了時刻を提示したり、タイマーで残りの時間を示したりする。

授業の流れ

- 1 復習
- 2 江戸幕府
- 3 グループ活動
- 4 発表
- 5 ふりかえり



Point!

- ・集団の中でできる支援から考えます。
- ・効率的にできる支援を考えます。
- ・全員にとって居心地が良い状況が大切です。

例

・授業中に一方的な発言を繰り返し、友達とトラブルになることがある。



- ・今やるべきことが何かを理解することが難しいのかもしれない。
- ・「発言したい」という衝動をコントロールすることが難しいのかもしれない。
- ・自己肯定感が低く、自分をアピールしたいのかもしれない。
- ・相手の気持ちを察したり他者の立場になって考えたりするのが難しいのかもしれない。
- ・学習内容が理解できず、飽きてしまうのかもしれない。



手立て

1 学級全体で統一したルールを決めて、提示する。

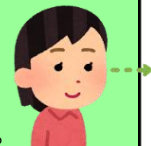
- ・教室の目に付く場所に掲示し、常に意識できるようにする。
- ・必要に応じてその場で繰り返し唱え、上手に聞いている子供を称賛する。

おえういあ	聞き方「あいうえお」
終わるまで	相手に聞こえる大ききで
うなずきながら	うつぶかなくくり
えがおで	えがおでいきいき
終わるまで	終わるまで話そう

2 発言する機会を、事前に視覚的に提示する。

- ・授業展開で、発言や質問できる順番を視覚的に示しておく。
- ・発表する順番も、座席の順番など分かりやすくし、自分の順番を意識できるようにする。
- ・課題や質問内容を視覚的に示し、発言内容がそれないようにする。

質問は後でできるんだな...



運動会のリレーについて

【先生の話】

- 1 運動会の日時
- 2 リレーの方法
- 3 選手の決め方 **重要!**

【質問タイム】

【相談タイム】

3 教師が声をかけやすい座席にする。

- ・座席はできるだけ前方の中央よりにし、注意を促したり、発言を抑制したりしやすいようにする。
- ・発言するときは順番を伝え、「発言を止められた」という気持ちを和らげるようにする。



ぼくの番は、次の次だな。

4 授業内容を分かりやすくし、授業中の指示を明確にする。

- ・見通しをもって取り組めるように、授業の流れを統一して提示する。
- ・課題や質問の内容等を板書し、発言内容がそれないようにする。
- ・教職員間で共通理解を図り、どの教科でも同じ形態で板書をする。(問題は青、まとめは赤の枠で囲うなど)

学習問題

授業の流れ

- 1 復習
- 2 合同な図形
- 3 グループ活動
- 4 発表
- 5 ふりかえり

教 P.36 合同な図形

まとめ

5 行動を振り返る機会を設ける。

- ・休み時間など、個別に話を聞きながら、自分の行動を振り返るようにする。
- ・話を聞きながら、話をするときのルールを伝えたり、相手の気持ちを考えたりする機会をもつ。

びっくりするかも...



突然話しかけられた友達はどう思ったかな。

令和5年度葛南教育事務所管内「学力向上交流会」を開催します【指導室】

葛南教育事務所管内「学力向上交流会」は、千葉県の学力向上月間である11月を中心に「ちばっ子『学力向上』総合プラン」の一環として、開催しています。

今年度も、昨年度と同様に全体会をオンデマンド形式、分科会をオンライン形式で行います。分科会では、優れた実践に取り組んでおられる各市の8名の先生方に提案をしていただきます。今年度の担当市である市川市には、4つの分科会を担当していただいています。分科会の内容は、ICT活用等の現代的教育課題に対応したものや千葉県の授業づくりコーディネーターによる実践発表等、授業づくりにお役立ていただけるものばかりです。詳しくは、下記の「分科会・提案者一覧」をご参照ください。

全体会はオンデマンド形式の動画視聴、分科会もオンラインですので、参加対象者以外の先生方も視聴可能です。大型モニターを活用する等して、是非多くの先生方にご覧いただき日々の教育活動に生かしていただきたいと思います。

期日 (1) 全体会 (動画配信) 配信期間 令和5年11月6日(月)～11月13日(月)

(2) 分科会 (zoom) 令和5年11月13日(月) 午後2時30分～午後4時30分

分科会内容・提案者一覧

	分科会内容	提案者	
1	授業づくりコーディネーターによる実践発表 (社会)	市川市立信篤小学校	鈴木 雄介 教諭
2	ICTの効果的な活用による授業改善 (外国語)	市川市立福栄中学校	尊能 一馬 教諭
3	子ども達の学習意欲を持続させる工夫 (外国語)	市川市立大洲小学校	佐々木 ゆう子 教諭
4	探究的な学習を進める取組 (理科)	市川市立第四中学校	宮崎 隼人 教諭
5	「考え、議論する道徳」の実践 (特別の教科 道徳)	船橋市立法典小学校	畑中 一輝 教諭
6	授業づくりコーディネーターによる実践発表 (体育)	習志野市立藤崎小学校	河野 正則 教諭
7	「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」を活用した取組 (数学)	八千代市立村上中学校	山田 紘義 教諭
8	思考力・判断力・表現力を育成する授業実践の発表 (国語)	浦安市立浦安小学校	大矢 直子 教諭

講師募集のお知らせ

【管理課】

本事務所では、随時、講師を募集しております。お知り合いの方に、教員免許状をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご紹介ください。

また、すでに教員免許状をお持ちになっていて、来年度から教職で働きたいとお考えの方の中で、一足先に今年度中から働ける方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。

次回の本事務所講師登録会は、10月14日(土)に開催する予定です。詳細は、ホームページに掲載しております。なお、講師登録会に限らず、講師の募集は随時行っています。電話でお問い合わせください。

千葉県教育庁葛南教育事務所

住所：船橋市浜町2丁目5番1号

電話：047-433-6017

管内の不祥事をゼロに！

【管理課】

不祥事根絶に向けて、たくさんの教職員が、「切実感」と「当事者意識」を持って、日々業務に取り組んでいます。しかしながら、監督責任を含め、今年度すでに17件の懲戒処分が行われたことは大変残念なことであり、改めて絶対に不祥事を起こさないという気概で職責を果たしていかなければなりません。

今年度の懲戒処分17件の内訳は、監督責任の3件を除くと、わいせつ・セクハラが5件、交通事故・飲酒運転が1件、体罰が1件、その他が7件となっています。

ところで、令和4年12月に改訂された「生徒指導提要」には、「不適切な指導と考えられ得る例」が新たに記載されました。体罰や不適切な言動等の未然防止や組織的な対応を徹底し、体罰禁止の風土の醸成に努めていきましょう。

不適切な指導と考えられ得る例

- 大声で怒鳴る、ものを叩く・投げる等の威圧的、感情的な言動で指導する。
- 児童生徒の言い分を聞かず、事実確認が不十分なまま思い込みで指導する。
- 組織的な対応を全く考慮せず、独断で指導する。
- 殊更に児童生徒の面前で叱責するなど、児童生徒の尊厳やプライバシーを損なうような指導を行う。
- 児童生徒が著しく不安感や圧迫感を感じる場所で指導する。
- 他の児童生徒に連帯責任を負わせることで、本人に必要以上の負担感や罪悪感を与える指導を行う。
- 指導後に教室に一人にする、一人で帰らせる、保護者に連絡しないなど、適切なフォローを行わない。

今年度もすでに巡回不祥事根絶研修会を約50校で実施しました。実施校の教職員の方々から次のような感想をいただきました。

「当事者意識を持って今後も不祥事を起こさない！と考えさせられる内容だった。」

「あれダメ、これダメという内容だけでなく、現実的な対策として、私たちの側に寄り添った視点で話してくださるのが良かった。」

今後も、「管内不祥事ゼロ」を目指し、「切実感」「当事者意識」「連帯感」のキーワードを意識付けていきます。